

AVES

はるか昔、世界中の鳥たちはみな、まっ白な羽をしていました。創造主は鳥たちをもっと色鮮やかにしたいと願い、虹色の実をつけるふしぎな木を生み出しました。その実を食べると、羽は実と同じ色に染まります。それを知った鳥たちは大よろこび。だれもが、いちばん美しい虹の鳥を目指すようになりました。こうして、鳥たちの色くらべが始まりました！

内容物

▼ 果実カード 42 枚 (7 種類の果実 × 6 つの数字)



▼ カラスカード 4 枚



セットアップ

1. プレイ人数に応じた果実カードを用意します。
2 人プレイでは数字 1~3、
3 人プレイでは数字 1~4 を使用し、以降も同様です。
2. 用意した果実カードとカラスカード 4 枚をよく混ぜ、羽の面を上にして中央に置き、山札にします。
各プレイヤーは山札から 3 枚引いて手札にします。
3. 山札から 7 枚表にして、山札を囲むように輪に並べます。
これを「果実リング」と呼びます。

果実リングの例



手札の例

手札は、羽の面がほかのプレイヤーから見える向きで持ちます。



数字の面は、自分だけが見える向きにします。



ゲームの目的

山札がなくなる前に、手札に 7 種類の果実カードを 1 枚ずつそろえ、虹の鳥になりましょう！

ゲームの進め方

最近フルーツを食べた人が最初の手番プレイヤーです。以降、時計回りで手番を行います。

手番では、手札 1 枚を果実リングの好きな 2 枚の間に置きます。その後、**果実交換のルール**に従ってカードを受け取り、手札に加えます。

果実交換のルール

置いた手札の数字が、そのカードの両隣にある 2 枚の数字の差と等しい場合、その両隣の 2 枚を受け取ります。

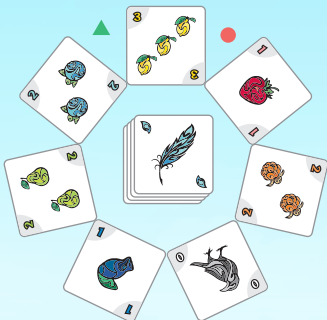
でなければ、山札のいちばん下のカードを 1 枚受け取ります。



果実交換の例

下図の▲に数字1のカードを置いた場合、
両隣の2枚（🍌と🍌）を受け取ります。

●に置いた場合は、山札の一番下のカードを1枚受け取ります。



手番の終了

果実交換が終わったら、次の順に行います。

1. 手札を確認する

手札が8枚以上ある場合は、果実カード1枚を果実リングの好きな2枚の間に戻します。**カラスカードは戻せません。**

同じ種類の果実カードが2枚以上ある場合は、1枚を戻します。下図の例では、🍌か🍌のどちらか1枚を戻します。



2. 果実リングを補充する

果実リングの枚数が1枚だけになっていたら、
山札から6枚表にして時計回りに補充します。

これで手番は終了です。左隣のプレイヤーの手番になります。

ゲーム終了と勝敗

次のいずれかが起きたらゲーム終了です。

- 自分の手番の終了時、手札に7種類の果実カードが1枚ずつあり、さらにカラスカードがなければ勝利です。
- 山札がなくなった場合は、次の順で勝者を決めます。
 - 果実の種類数を比べ、最も多いプレイヤーが勝利します。
 - 種類数も同じ場合は、果実カードに描かれた果実の数の合計を比べ、最も多いプレイヤーが勝利します。
 - それも同じ場合は、全員勝利です。

バリエントルール

「カラスたちはお腹いっぱい。

カァカァ鳴いて、それぞれの巣へ帰っていきました……」

カラスカードをすべて箱に戻し、果実カードだけでゲームを行います。そのほかのルールは基本ルールと同じです。



制作スタッフ

作者：Shi Chen 美術：Dray Yang
編集：Dray Yang、Kechen Hsu
グラフィックデザイン：Yawen Jheng
翻訳：Yawen Jheng
発行：Play With Us Design Co., Ltd.

お問い合わせ

<https://pwud.ga/contact@mail.pwud.ga>

版本情報

2026年5月第三版発行

⚠ 警告 (必ずお読みください)

▼小さな部品が含まれています。誤飲の危険がありますので、口に入れないでください。3歳未満のお子様には適していません。▼乳幼児の手の届かない場所に保管してください。▼変形や破損を防ぐため、湿気が多い場所、高温となる場所、直射日光の当たる場所、腐食性のある溶剤の近くには置かないでください。▼火気や熱源の近くには置かないでください。